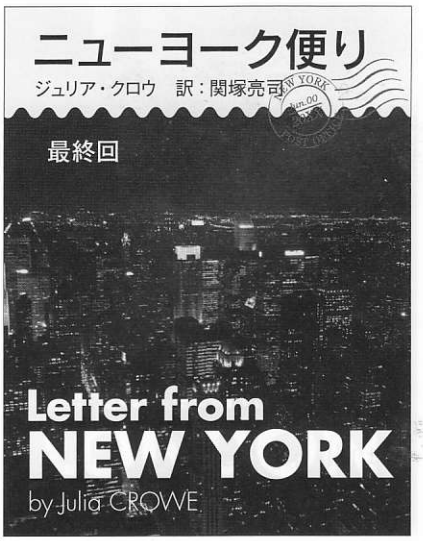


●キューバ出身のギタリスト、レネ・イスキエルドとブラジルのリコーダー奏者クレア・ガルハノ

キューバ生まれのギタリスト、レネ・イスキエルドと、ブラジルのリコーダー奏者クレア・ガルハノが、ニューヨークのカーネギー・ワイル・ホールでデュオ・コンサートを開いた。当夜のプログラムはラテン音楽特集であった。

イスキエルドは、アマデオ・ロルダン音楽院とハバナの高等芸術学院で学んだ後、イェール大学に留学、修士号と芸術家ディプロマを取得している。これまで、2004年ジョアン・ファレッタ国際ギターコンクール、エストレマドゥーラ国際ギターコンクール、シャド弦楽コンクール、ストツェンベルク国際ギターコンクールで優勝している。彼は現在、ウイスコンシン大学ミルウォーキー・ペック芸術学部クラシックギター科の教授だが、作曲家のジョージ・モレルとカルロス・リベラが彼のために作品を献呈している。

クレア・ガルハノは、ブラジルのファカルダーデ・サンタ・マルセリーナ、オランダのハーグ王立音楽院、ボストンのニューイングランド音楽院で、リコーダーを学んだ。彼女は、ボストン古楽フェスティバル、ドイツのレーゲンベルグ古楽フェスティバル、ロンドンのウィグモアホールで公演している。また、米国リコーダー協会本部に勤務したことがあるフルブライト奨学生で、ミッドウェスト・リコーダー・オーケストラの音楽監督である。また、セントポール音楽院の芸術専務理事であり、マカレスター大学の教授陣の一人である。

●カーネギー・ワイル・ホールでのデュオ・コンサート

カーネギー・ワイル・ホールでの公演の幕開けは、ピアソラの〈リベルタンゴ〉で、ギターと木製リコーダーによるきれいな演奏であった。続いて演奏したのはブラジルの作曲家ブレンノ・ブラウスの〈エニグマ〉で、伝統的な民謡風楽曲を現代的な無調音楽に仕立てた作品であった。

ブラジルの作曲家エドムンド・ヴィラニ・コルテスの5楽章からなる作品《組曲》(1976)は、ガルハノが小ぶりの黒いプラスチック製のリコーダーを使って演奏した。作曲家コルテスは、1960年代の後半にブラジルのテレビ界で活躍した有名な編曲者でもある。また、コルテスは、アカデミア・パウリスタ・デ・ムジカとサンパウロ大学芸術学院の教授であると同時に、リオデジャネイロ連邦大学音楽院で作曲科の教授でもある。イスキエルドとガルハノが演奏したこの《組曲》は、技術的にとても複雑なものであったが、2人はギターとリコーダーという2つの楽器に良く合った素晴らしい演奏を聴かせた。

続いてイスキエルドが、ソロを2曲演奏した。伝統的なアフロキューバンの子守歌〈おやすみネグリータ〉と、ニコ・ロハスが作曲した非常に美しい〈グァヒーラ・デ・ミ・マドレ〉だった。その後、ガルハノとのデュエットに戻り、マキシモ・ディエゴ・プホール作曲による4楽章からなるユーモラスな《ブエノスアイレス組曲》を演奏した。この作品は、車の騒音などブエノスアイレスの都会の喧騒をカラフルに再現していた。

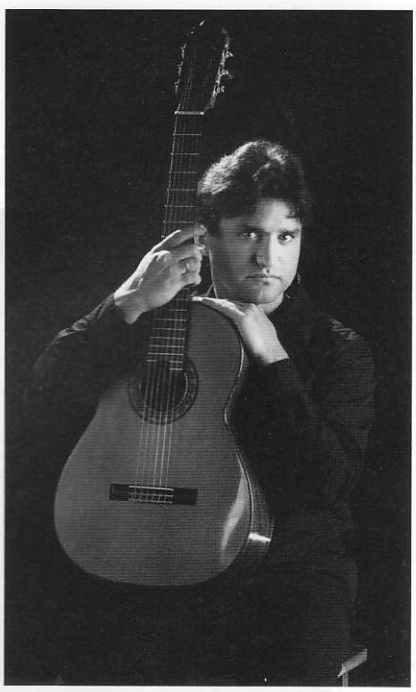
短い休憩の後、第2部が開始されたが、ガルハノの独奏で、ブラジルの作曲家キルザ・セッティー作曲の〈リコーダーのための2つのモーメンツ〉という動きの速い作品を木製のリコーダーで演奏した。セッティーは作曲家であると同時に、ブラジルの黒人音楽、土着音楽、インディアン音楽の研究を発展させた指導者でもある。彼女は、現在バヒア大学で民族音楽学を教えているが、サンパウロにあるブラジル・フォークロア協会の創設者の一人である。

再びイスキエルドとガルハノのデュオに戻り、キューバの作曲家エドゥアルド・マルティンの〈アスタ・アリシア・バイラ(Guaguanco)〉を演奏した。ギターの側面板の上部を指でタッピングする打楽器音で始まり、木製のリコーダーがそれに合わせて演奏した。続いて、ブラジルの作曲家セルソ・マシャドのリズミカルで楽しい作品を3曲演奏した。曲目は〈Algodao Doce(サンバ)〉、〈Quebra queixo(ショーロ)〉、〈Pe de Moleque(サンバ)〉である。コンサートは最後に、ピアソラ《タンゴの歴史》が見事な演奏で締めくくられた。

イスキエルドがガルハノと出会ったのは、1年前ミルウォーキーで開かれた室内楽コンサートに、2人がソリストとしてゲスト出演した時だった。音楽監督に依頼されて、2人はアンコールで二重奏を行なったが、それが大成功を収め、それ以後デュエットで演奏するようになった。

●レネ・イスキエルドの2014年の活動予定

イスキエルドは、2014年のリリースに向けて、室内楽の新作アルバム2枚をレコーディングしている。1枚はギタ


レネ・イスキエルド

リストである妻エリナ・チェッカンとのデュオで、もう1枚はフルートとギターのデュオ作品である。彼は、今年さらに2枚のソロCDの録音を計画している。1枚は、キューバのラテン・グラミー賞作曲家ヤリル・ゲーラの作品を録音するが、もう1枚についてはレパートリーを検討中とのこと。

また、イスキエルドは、ソプラノ歌手のマリア・ジェッテとツーソン・ソング・フェスティバルで共演し、イェール・ギター・エクストラヴァガンツァでは、ギターソロと、フルート奏者のランソン・ウイルソンとのデュオ演奏を行なった。4月9日にはニューヨーク・クラシック・ギター・ソサエティーで演奏予定、そして、今年の夏には、イタリアのマンドリン奏者カルロ・アオンゾとのツアーを計画しており、カミノ・デ・サンチャゴでコンサートシリーズを行なう。7月にはスペインのバレンシア市にあるカリオン・デ・ロス・コンデスでワークショップを行なう。8月には、イザーロン・ギター・フェスティバルでゲストとして演奏し、10月にはテキサスA&Mギター・シンポジウムで演奏する。

●香港航空のギター破損事件

昨年、アジア地域でコンサートツアーを15回行なったイスキエルドは、香港での3回の公演のあと、香港航空の手荷物係の不手際で、彼のギターが破損するという嫌な経験をした。

クレア・ガルハノ

香港から台北に向かう香港航空の便にチェックインしたときのこと、香港航空の受付係員が、機内客席の上部棚に十分なスペースがあるにもかかわらず、彼のギターの機内への持込を認めなかったため、受託貨物として積み込まれることになった。そこで、イスキエルドは、その係員に彼の楽器がいかに高価で貴重なものであるかを十二分に説明し、アコード・フライト・ギターケースとその取手に“壊れやすい”というステッカーを貼った。しかし、イスキエルドが台北に到着してからケースを開くと、ギターのネックが折れているのに気付いた。

「責任者に会いたいと要求すると、若い社員が出てきて、請求書のフォームに記入すれば30ドルを支払うというのです。納得がいかないので、損害賠償請求をすると言いました。すると、それならば香港に戻って、香港航空の本社で必要な手続きしてくださいというのです」

ちょうど台風が香港に向かっていた時だったのと、翌日、台北でコンサートを開くことになっていたため、彼はやむなく壊れたギターの写真を撮り、それをフェイスブックに掲載した。香港航空からは何の回答もなく、ギターの損害責任を取るという者も現われないので、彼は2時間後に台北空港を離れざるを得なかった。友人のアドバイスに従って、世界的な規模で迅速に苦情処理を行なうチェンジ・オルグ社（社会変革活動の支援を業務とする企業）に処理を依頼し、台湾と香港の新聞社とテレビ局のリポーターに連絡をとった。

このメディアの圧力に屈した香港航空本社が、台北にいるイスキエルドのところに社員を派遣してきたのは事故の4日後のことであった。長時間話し合った結果、香港航空側はギターの修理代の支払いと、ペアの無料航空券を提供することに同意した。受け取った無料航空券はイェール大学台北支部に寄贈された。台北で予定していたコンサートは、同地のシャン・ホウ氏が所有するロマニリョス製作のギターを借りて演奏せざるを得なかったが、イスキエルドは銘器の価値を改めて認識するとともに、この素晴らしい楽器に深く感謝した。

音楽家がギターを機内に持ち込むことについて、香港航空がどの程度ルールを改正するのか不明だが、今後、楽器の取り扱いが確実に改善されるものとイスキエルドは感じている。

「全世界の音楽家から寄せられた素早い反応とメディアがそれを強力にサポートしたことに、香港航空の関係者はショックを受けたはずです。でも、お粗末な荷扱いが原因で破損したギターの修理費を回収するために、私が航空会社に対して行なった処置に、多くの非難が浴びせられたのには驚きました」

イスキエルドのギターは、アントニオ・マリン・モンテロが、フェデリコ・シェパードというギター製作家から提供されたスプルースの特別な古い木材を使用して製作した楽器で、2013年6月末に完成したものである。

「スプルースはこれまで弾いたことがなかったので好きになれないのではないかと心配しましたが、すぐにこの楽器に惚れ込みました。香港航空のためにヘッドが折れてしまったこの楽器ですが、著名なギター製作家であるリチャード・ブルーネが3週間で修理してくれて完全な状態に戻りました。本当に素晴らしい職人の技です」

来年は、ウィスコンシン大学ミルウォーキー・ギタープログラム（以下UWM）開設10周年記念の年である。

「多くの有能なギター科の学生と共に学ぶことができたことは、私にとって誠に光栄なことです。このプログラムは短期間のうちに充実したものになりました。これまでキューバ、スペイン、イェール大学、パリ音楽院で自分が経験したことを活かしたカリキュラムを作り、現代に生きる全てのギタリストにとって必要な研究課題を実行してきました。修士課程のプログラムは、世界中のギタリストに注目されています。我がUWMの卒業生は、この学校で学んだ質の高い教育を反映したギタリストになってくれると思います」

詳しくは以下を参照のこと。
http://www.reneizquierdoguitar.com
http://www.cleagalhano.com
http://youtu.be/S4rRKHqzNNc